

記入例

(農家における記録の様式 (肉用牛))

平成14年度 家畜排せつ物の発生量等に関する記録

(記入日：平成15年3月31日)

1. 年間の家畜排せつ物の発生量

(単位：t/年)

種類	平均的な 飼養頭羽数 (頭) ①	1頭当たり排せつ物量		1年当たり排せつ物量		
		ふん ②	尿 ③	ふん ④ (①×②)	尿 ⑤ (①×③)	合計 ⑥ (④+⑤)
肉用種 2歳未満	25	6.5	2.4	162.5	60.0	222.5
肉用種 2歳以上	10	7.3	2.4	73.0	24.0	97.0
乳用種		6.6	2.6			
合計	35	—	—	235.5	84.0	319.5

注1) 平均的な飼養頭数は、2月1日現在の頭数又は当該年と前年の2月1日現在の平均頭数等を用いる。

2. 処理の方法及び処理の方法別の数値

処理方法	割合	
	ふん	尿
① 自家処理し、自己の経営内で利用	1.5 割	割
② 自家又は経営外で処理し、経営外で利用	8.5 割	割
③ 浄化処理施設で処理	割	割
④ 焼却施設で処理	割	割
⑤ その他 ()	割	割
()	割	割
合計	10 割	10 割

注1) ②は、たい肥センター等の共同処理施設、耕種農家等に譲渡したものについて記入。

注2) ふん尿混合で処理を行っている場合は、固形物として処理している場合はふん、液状物として処理している場合は尿に記入する。

注3) 割合は、過去1年間の処理方法に基づいて記入する。

3. 飼養頭数記録上の注意

① 肉用種 2歳未満とは、生後6ヵ月齢以上の頭数

② 肉用牛繁殖経営において、出荷が見込まれる子牛については、10ヵ月未満まで子牛として取り扱う

③ 乳用種育成経営においては、飼育されている育成牛(6ヵ月齢未満も含む)の実頭数に1/3を乗じた数をもって当該経営の飼養頭数とする

2月1日現在 育成頭数150頭の場合：150頭×1/3=50頭